

心理学・教育学委員会脳と意識分科会（第 25 期・第 2 回）議事要旨

日時：2021（令和 3）年 3 月 10 日（水）16 時 30 分～18 時 30 分

会場：オンライン会議（Zoom 使用）

出席者：苧阪直行委員長、松井三枝副委員長、坂田省吾幹事、蘆田宏幹事、大平英樹、苧阪満里子、川合伸幸、川畑秀明、斎藤智、坂上雅道、高橋英彦、仁平義明、福山秀直、渡部文子（14 名）

報告

- (1) 前回議事録確認
- (2) 脳とこころの分科会の共催について（松井先生）

議題

- (1) 4 月以降の分科会開催のスケジュールについて
予算の都合上、年 2-3 回程度の開催となる。詳細は今後確認する。
- (2) 高橋英彦委員の研究発表「脳画像と人工知能をこころの研究に活かす」
fMRI 測定的人工知能による分析を統合失調症の診断に用いる一連のご研究について解説頂き、出席委員の間で活発な質疑討論が行われた。合わせて、パンデミック化している新型コロナウイルス問題に関係する心理的問題についての対応についての取組みについて解説していただいた。
- (3) 融合社会脳研究センター構想の実現に向けての方向性について
松井世話人により、新たな施設としてセンターを作ることは困難な現状に即して、ヴァーチャルなネットワーク組織としての実現を考えるという提案があり、議論が行われた。また、実現に向けたワーキンググループの設置について検討された。
- (4) その他
次回は 5 月 27 日（木）午後 2 時-4 時のオンライン開催とする。開催が少なくなるので、次回は短めの発表を 2 名お願いすることとし、渡部先生と川合先生に内諾をいただいた。